

平成 27 年 3 月 3 日

各都道府県・市区町村教育長 殿
各高等学校長 殿
各中学校長 殿
各関係教育機関所属長 殿
各校情報教育担当者 殿
情報教育研究者 殿

情報処理学会 コンピュータと教育研究会
主査 西田 知博 (大阪学院大学 准教授)
(公印省略)

「コンピュータと教育研究会 第 129 回 研究発表会」の開催について (依頼)

当研究会の活動につきまして、日頃御協力を賜わり厚く御礼申し上げます。

さて、情報教育関係者が研究成果を発表し、協議等を行う、「コンピュータと教育研究会 第 129 回 研究発表会」を下記の要領により開催いたします。つきましては、趣旨等を御理解の上、情報教育関係職員の多数の御参加について、格別の御配慮をお願い申し上げます。

記

1. 名称

情報処理学会 コンピュータと教育研究会 第 129 回 研究発表会

2. 概要

コンピュータ教育 (CE) 研究会は情報処理学会の研究会として、「情報処理技術・知識工学・ニューメディア技術と教育工学との接点を重視し、教育へのコンピュータ利用の新しい方法ならびにシステム開発の技法の研究に寄与すること」「わが国の情報処理技術の基礎を支える専門技術者・研究者の育成から情報社会の基盤を形成するコンピュータリテラシの普及に至る幅広い教育の問題について現状の分析とカリキュラム開発、教授法の研究に寄与し、併せて情報の交換を行うこと」を目標として、年 5 回の研究発表会と 1 回のシンポジウムなどを通じて活動を行っています。今回の研究発表会は、通算で 129 回目、本年度 5 回目の開催となります。

3. 日程、場所

2015 年 3 月 21 日 (土)9:50~22 日 (日)18:00
筑波大学 東京キャンパス文京校舎 (東京都文京区)

4. 共催

筑波大学

5. 協賛

東京都高等学校情報教育研究会

6. 費用

CE研究会登録会員:無料, 情報処理学会学生会員:500円,
情報処理学会個人・賛助会員(学生会員を除く):2000円, 非会員学生:1000円,
その他:3000円
初等中等教育関係者(児童・生徒を含む):聴講無料

7. プログラム

3月21日(土)

9:50~09:55

オープニング

09:55~12:00 (学生セッション)

[1] アセンブリ言語教育支援システム Sim AI の設計と実装

小林 晴紀(法政大学大学院理工学研究科), 和田 幸一(法政大学理工学部)

[2] Tonyu System 2 ~ 学習エージェントとの対話体験による数学学習支援ゲーム

長島 和平, 長 慎也(明星大学情報学研究科)

[3] 学習者の理解にあわせた説明をする数学学習支援ゲーム

敷根 伸光(筑波大学理工学群), 山中 敏正(筑波大学人間総合科学研究科), 星野 准一(筑波大学システム情報工学研究科)

[4] Leap Motion を利用したゲームの試作とユーザーインターフェースの考察

吉田 修梧, 伊藤 朱音, 羽生 美里, 白方 満理奈, 堀内 結衣, 間辺 広樹(神奈川県立柏陽高等学校), 兼宗 進, 島袋 舞子(大阪電気通信大学)

[5] 高校文芸部による文化祭でのスマホを利用した作品展示の試み

根本 美由紀, 小澤 詩織, 間辺 広樹(神奈川県立柏陽高等学校) 兼宗 進, 島袋 舞子(大阪電気通信大学)

13:00~14:15 (学生セッション)

[6] 穴埋め問題を用いたプログラミング教育支援ツール pgtracer のログデータ分析機能

太田 康介, 掛下 哲郎(佐賀大学)

[7] 研究室ゼミにおける質疑トランスクリプトを活用した質疑促進システムの開発

千葉 慎也, 南野 謙一, 後藤 裕介, 渡邊 慶和(岩手県立大学 ソフトウェア情報学部)

[08] 授業研究のための授業実施・評価支援システムの開発

大塚 舞(山梨大学大学院医学工学総合教育部), 水越 一貴(株式会社 デジタルアライアンス), 渡辺 喜道(山梨大学大学院総合研究部), 八代 一浩(山梨県立大学国際政策学部)

14:25~15:40 (学生セッション)

[9] ソーシャルメディアとワークショップによる循環型作問学習環境の開発と評価

小泉 ふゆか, 南部 美砂子, 椿本 弥生(公立はこだて未来大学システム情報科学部)

[10] 事前学習知識の観点共有による対面型協調学習支援システムの提案

長谷川 晃司, 干谷 一師, 羽山 徹彩(金沢工業大学)

[11] Difference on Visual Related Programming Understanding between Designers and Programmers by Using a Programmed Contents Comparison Method.

Martinez Calderon Dick (Kobe University Graduate School of Intercultural Studies), Miyamoto Yukinobu (Graduate School of Information Technology, Kobe Institute of Computing), Kiyomitsu Hidenari, Ohtsuki Kazuhiro (Kobe University Graduate School of Intercultural Studies)

15:50～16:55

[12] 情報教育環境における仮想デスクトップの導入

飛松 敬二郎, 山崎 浩之 (工学院大学 情報科学研究教育センター)

15:20～16:55 (研究論文セッション)

[13] CS アンプラグドを用いたソーティングプログラム理解教材の提案

島袋 舞子, 土田 和人, 兼宗 進 (大阪電気通信大学)

17:05～18:05 (招待講演)

[14] 教育の情報化の現状と展望、情報処理分野への期待

新井健一 (ベネッセ教育総合研究所)

18:05～18:15

学生奨励賞発表

3月22日(日)

9:30～10:40 (研究論文セッション)

[15] 問題解決学習の指導方法について ～IE 図法の提案～

小原 格 (東京都立町田高等学校), 辰己 丈夫, 川合 慧 (放送大学)

[16] 学習分野を考慮したインターネット検索の提案

下倉 雅行 (大阪電気通信大学/大阪市立大学), 大国 航, 島袋 舞子, 兼宗 進 (大阪電気通信大学), 村上 晴美 (大阪市立大学)

10:40～11:40

[17] オンライン筆記データを用いた書き写し行為の推定

高橋 梓帆美, 井本 和範, 山口 修 (株式会社 東芝 研究開発センター)

[18] 穴埋め問題を用いたプログラミング教育支援ツール pgtracer の問題難易度に関する考察

村田 美友紀 (熊本高等専門学校), 掛下 哲郎 (佐賀大学)

13:00～14:00

[19] 高度 ICT 教育における振り返り Experience Map を用いたカリキュラム改善

木塚 あゆみ, 伊藤 恵, 大場 みち子 (公立ほこだて未来大学)

[20] リアリティのある環境の中に埋め込んだ大学生のメールリテラシ教育の実験——研究室の事例—第2報 (2014 年度実験)

佐藤 究, 小笠原 直人, 布川 博士 (岩手県立大学ソフトウェア情報学部)

14:10～15:40

[21] アルゴリズム教育における発見学習の試み

浅野 考平 (関西学院大学理工学部), 森戸 隆文 (関西学院大学大学院理工学研究科)

[22] データ流れ図を題材とした議論活動の教材化

竹内 和広, 北中 佑樹 (大阪電気通信大学)

[23] 学生レポートの教育評価支援ツールによる表データの解析

松本 みどり, 山口 俊夫, 辻野 賢治 (東京女子医大物理学), 松本 憲幸 (株式会社 MetaMoJi),
木下 順二 (東京女子医大物理学)

15:50～17:20

[24] LMS の掲示板を用いたロールプレイによるプロジェクト管理演習の実践

佐々木 茂, 荒井 正之, 高井 久美子, 小川 充洋, 渡辺 博芳 (帝京大学)

[25] 一般情報処理教育の内容と方法について

黒澤 和人 (白鷗大学)

[26] 大学における授業科目「小中高におけるコンピュータ教育」実践報告

吉田 葵, 来住 伸子 (津田塾大学), 阿部 和広 (津田塾大学/青山学院大学)

17:20～17:30

クロージング

8. 研究会 Web ページ

<http://ce.eplang.jp/>

9. 問い合わせ先

〒564-8511 大阪府吹田市岸部南 2-36-1

大阪学院大学 情報学部 西田知博

Tel: 06-6381-8434

E-mail: nishida@ogu.ac.jp